

研究講習事業報告

学発番 学19-041

事業名： 臨床化学免疫血清研修会

日時： 令和元年11月26日（火） 18：30～20:00

場所： 京都保健衛生専門学校 視聴覚室

主題1： 生化学自動分析装置における電解質測定原理と異常事例のご紹介

講師1： 古後 富久 氏

（日本電子株式会社 ME技術本部技術サポートセンター応援研究チーム）

参加数： 総数：18名（京臨技会員：13名）

報告者： 森田 悠里(株式会社ファルコバイオシステムズ)

以下、講演内容など

今回は、生化学自動分析装置における電解質測定の原理と異常事例について講演をしていただきました。電解質測定には直接法と間接法があり、間接法では大量の希釈液により検体中のマトリクス成分を抑えた測定が可能ということで、現在95%以上の施設がこの方法で測定しているとのことでした。異常事例の紹介では、分析異常が考えられる際に、Na、K、Clの各分析値を同一グラフに展開し、同期性を確認する事が有用であると教えていただきました。電解質測定の原理や計算方法、異常事例まで、幅広く勉強できた有意義な研修会となりました。